

報告書抄録

ふりがな	うえじょういせき							
書名	植城遺跡							
副書名	ほ場整備関係（経営体育成基盤整備事業）遺跡発掘調査報告書							
巻次								
シリーズ名								
シリーズ番号	33-2							
編著者名	木戸雅寿							
編集機関	滋賀県教育委員会事務局文化財保護課			財団法人滋賀県文化財保護協会				
所在地	滋賀県大津市京町4丁目1-1			滋賀県大津市瀬田南大萱町1732-2				
発行年月日	平成18年（2006年）3月							
ふりがな 所収遺跡	ふりがな 所在地	コード		世界測地系		調査面積	調査期間	調査原因
		市町村	遺跡番号	北緯	東経			
うえじょういせき 植城遺跡	甲賀市 水口町 植	25-209	363-025	34° 58′ 29″	136° 08′ 43″	980m ²	2005.10.01 ～ 2006.03.31	ほ場整備
所収遺跡名	種別	主な時代		主な遺構	主な遺物	特記事項		
植城遺跡	城館	室町時代～近世		堀・土塁 溝・柱穴 井戸	中世陶磁器 近世陶磁器			
	その他	古墳時代		柱穴	須恵器			
要約	<p>植城今回の発掘調査では、削平された土塁や埋められた堀遺構、郭の一部を発見した。発見された遺構は、土塁の痕跡、埋め立てられた堀の痕跡、盛り土されて再利用された郭の敷地などである。特に堀は土塁天頂部の推定幅は13mを越え、深さ5mもある巨大な堀であったと推測される。</p> <p>また、郭については、発見できた遺構群からも、現況表土面から20～40cm下に遺構面が残っていることが確実である。甲賀郡内の城郭には他府県では認められないような巨大な土塁で囲われた屋敷地が集中していることがわかっていたが、これらはそれを示す格好の事例といえるであろう。</p> <p>また、今後の比較検討できる格好の資料となった。このように、今回の発掘調査が明確にした成果は、日本城郭研究や地域史の再構築という意味において、多大な貢献をしたものと考えられる。</p>							